

社会全体のデジタル変革の加速による「新たな日常」の構築

令和3年4月12日
総務大臣 武田良太

1. マイナンバーカードの普及

- 令和3年（2021年）3月末時点の累計で有効申請受付数は約4,549万件、交付実施済数は約3,590万枚であり、国民の約3人に1人の割合で申請している状況（次ページ参照）

※令和2年度における増加分（いずれも過去最高）

有効申請受付数 約2,346万件
交付実施済数 約1,558万枚

- 市町村の交付体制の充実・強化を支援とともに、さらなる普及に向けたキャンペーンやテレビCMなどの広報活動の強化などを実施

⇒ 政府全体の利活用策とともに、令和4年度（2022年度）末にほぼ全国民に行き渡ることを目指して取組を加速

2. 自治体システムの標準化・共通化

- 国が定める標準仕様に準拠した情報システムの利用を自治体に求める法案を今国会に提出済み

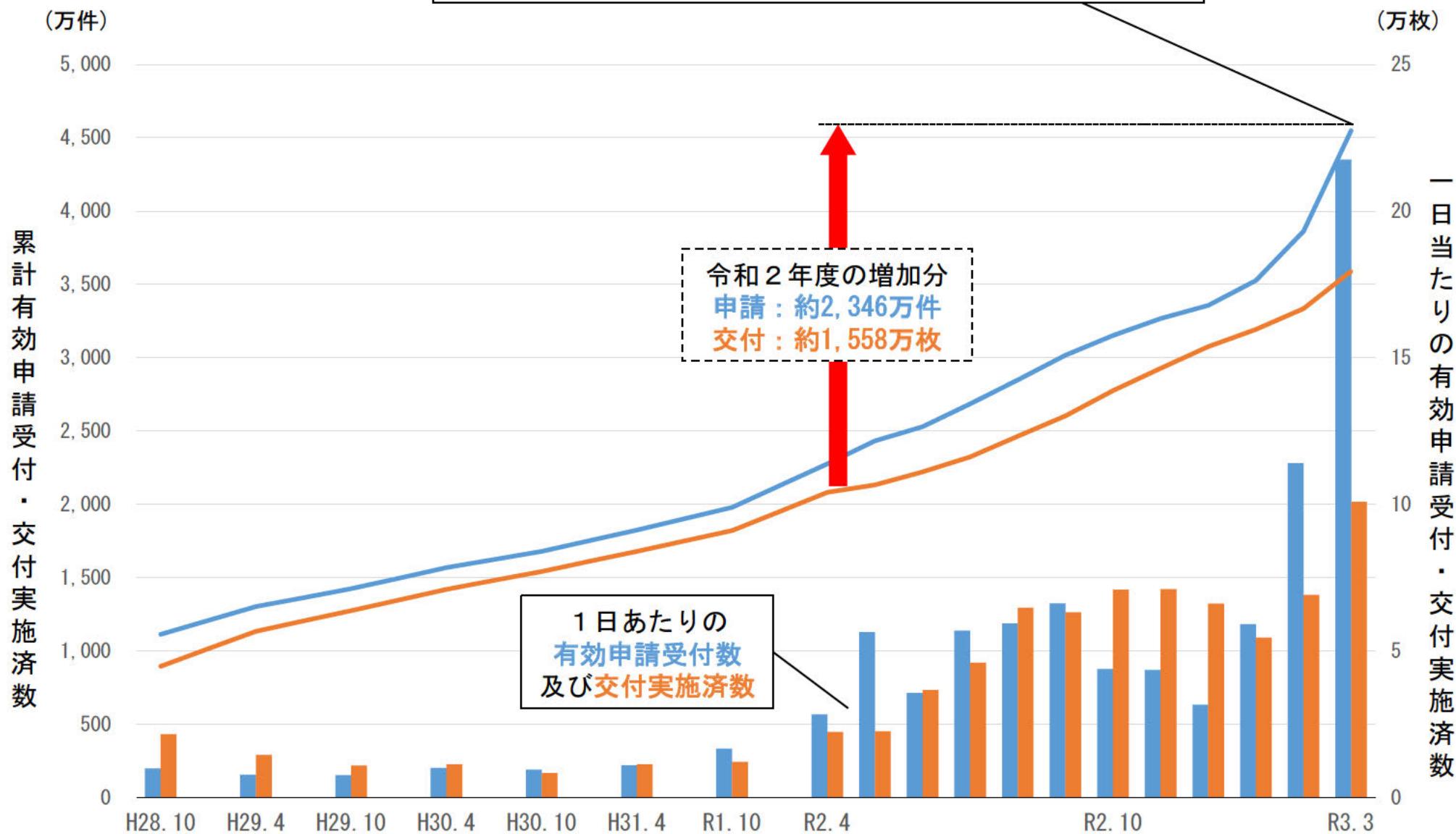
⇒ 自治体が令和7年度（2025年度）末を目標時期として標準準拠システムに円滑に移行できるよう

- 昨年末に策定した「自治体DX推進計画」に基づき、情報システムの標準化・共通化や行政手続のオンライン化などの実施手順をまとめた「自治体DX推進手順書（仮称）」を今夏目途に提示
- 国が引き続き、財源面も含め、主導的な支援を実施

マイナンバーカードの申請・交付状況

令和3年3月末
実績（累計）

有効申請受付数：約4,549万件
交付実施済数：約3,590万枚



5G・Beyond 5Gの展開の方向性

- 5Gは、「新たな日常」の実現などを支える、今後の経済社会や国民生活にとって極めて重要な基幹インフラ。
- 2024年度までの5G整備計画を加速し、あらゆる分野や地域において5Gが徹底的に使いこなされている環境の実現に加え、同志国とも連携しながら、適切なサプライチェーンとセキュリティ対策を確保し、我が国5Gの海外展開を推進する。
- 5Gの次の通信規格であるBeyond 5G(6G)については、研究開発基金を活用することで民間投資を促しつつ、産学官の連携や戦略的な知的財産権の取得、国際標準化を加速させる。

	これまでの取組	今後の方向性
5Gを含む 情報通信基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 2020年度末までに全都道府県で5Gサービスを開始することを義務付け、達成。 • 財政措置により光ファイバ整備を推進。2021年度末までに全国の未整備世帯数は約17万世帯まで減少する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> • インフラシェアリングを活用した基地局整備の促進や税制措置、条件不利地域における補助等を活用し、全国的な整備を更に推進することにより、2023年度末までに地域カバー率98%達成を目指す。 • ブロードバンドのユニバーサルサービス化に向け2021年夏頃に取りまとめを行い、所要の制度上の措置を検討。
5Gソリューションの 充実	<ul style="list-style-type: none"> • 5Gによる課題解決の具体的な事例を示すため、ローカル5G等の開発実証を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> • ローカル5G等の開発実証の成果等を含む5Gソリューションを集約し、容易に利用できる枠組みを2022年度中に試行。
5Gの国際展開	<ul style="list-style-type: none"> • 「総務省海外展開行動計画2020」に基づき、政策対話や多国間の枠組において、多様なベンダーの参入を可能にする5G網のオープン化を各国に働きかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 志同国と連携しながら、オープン化、ベンダーの多様化によるセキュリティと強靭性を確保。 • 適切なサプライチェーンやセキュリティ対策を確保しつつ、我が国企業の5Gやそれを支える海底ケーブル等の海外展開に向けた支援や環境整備を実施。
Beyond 5G実現に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> • Beyond 5Gの研究開発を推進すべく情報通信研究機構(NICT)に300億円の基金を創設。 • 「Beyond 5G推進コンソーシアム」への参画や、「Beyond 5G新経営戦略センター」の設立など、我が国のBeyond 5G推進体制を構築。 	<ul style="list-style-type: none"> • NICTに創設した基金を活用し、産学官で連携し、Beyond 5Gに必要な要素技術の確立や戦略的な知的財産権の取得、国際標準化を加速。 • 当面5年間の集中的な研究開発投資に向け、Beyond 5G研究開発への電波利用料の活用等を検討。